

平川市長 長 尾 忠 行 様

平川市監査委員 鳴 海 和 正

平川市監査委員 工 藤 秀 一

財政援助団体監査の結果報告について

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体の監査を実施したので、同条第9項の規定により、その結果に関する報告をします。

記

第1 監査の概要

1. 監査の目的

市が補助金を交付している次の団体について、その事業が補助等の目的に沿って適正かつ効果的に行われているか、また、所管課では適正な交付事務を行っているのか等について監査した。

2. 監査の対象

●認定農業者活動促進事業

団 体 名	所 管 課
平川市認定農業者連絡協議会	農林課

●果樹伐採材等資源有効活用事業

団 体 名	所 管 課
あすなろ理研株式会社	農林課
津軽バイオチップ株式会社	

3. 監査実施日及び監査実施場所

団 体 名	実 施 日 (令和2年2月19日)	実 施 場 所
平川市認定農業者連絡協議会	9時15分～	尾上総合支所内 会議室
あすなろ理研株式会社	10時20分～	
津軽バイオチップ株式会社	11時00分～	

4. 監査の範囲

平成30年度に交付された補助金及び現金等の取り扱いに関わる出納及び事務の執行を対象とした。

5. 監査の着眼点

財政的援助に係る出納その他の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかを主眼として、次の観点について団体及び所管課を監査した。

区 分	着 眼 点
団 体	<ul style="list-style-type: none">・ 交付申請、請求、受領手続き及び実績報告等は適時、適正に行われているか。・ 収支の会計経理は、適切に行われているか。・ 関係帳票の整備、記帳は適正に行われているか。また、領収書等の証拠書類は適正に整理保存されているか。
所 管 課	<ul style="list-style-type: none">・ 補助金交付に係る規定は、整備されているか。・ 交付目的及び補助金対象事業の内容は明確か。・ 補助金の額の算定、交付手続、交付時期等は適切か。・ 領収書等の証拠書類により支出の実態を十分に把握しているか。・ 団体への指導監督は、適切に行われているか。

6. 監査の方法

(1) 関係書類の現地調査

(2) 団体及び所管課からの聴取調査

第2 監査の結果

1. 総合意見

提出された書類及び事前に提出を求めた書類により聴取等を行った結果、適正に処理されているものと認められた。

個別の監査結果については、次のとおりである。

2. 監査結果の個別概要

(1) 認定農業者活動促進事業について

認定農業者が効率的かつ安定的な農業経営を目指し、先進地視察研修や相互交流事業等を行い、総合的な経営改善を図るため、必要な経費の一部に補助金800,000円の交付を受けている。

【監査結果】

① 平川市認定農業者連絡協議会に関する事項

平成30年度は、事業費収入額2,668,447円に対し事業費の2/3以内で当該年度の予算の範囲で助成を行った。

監査は、各種関係帳票等を検算した結果、計数に誤りはなく、対象費用の算定も適正で問題はなかった。

② 所管課に関する事項

補助金の交付目的及び対象事業の把握、交付事務等に関する一連の事務処理について適正に行われていて、今後も実績報告書及び領収書等の証拠書類をよく精査し、支出の実態を十分に把握するとともに、団体との適時連絡を取り合いながら指導・助言をお願いする。

(2) 果樹伐採材等資源有効活用事業について

りんご樹の伐採や剪定により発生した枝等の有効活用を促進する。

バイオマス資源として有効利用するため、平川市内りんご生産者の所有園地から発生した剪定枝等を通常買取価格1kg当たり4円に2円上乗せして買い取る。当該事業に係る2社の補助金合計額で617,300円の交付を受けている。

【監査結果】

① あすなろ理研株式会社に関する事項

総事業費が54,240円のうち、18,080円の補助金であった。

少額ではあるが、近隣の農業者にとっては持ち込み場所が近場という利点があり、産業リサイクルの構築に一役買うことができたと考えられる。

②津軽バイオチップ株式会社

総事業費が1,797,660円のうち、599,220円の補助金であった。

こちらは、木質バイオマス発電事業所ということもあり、広く有効活用している。当該補助事業との相乗効果によりさらなる産業リサイクルの構築に一役買うことができたと考えられる。

なお、果樹伐採材等資源有効活用事業補助金は令和元年度で終了するが、地元りんご園地で切り落とされた枝処理について、引き続き受け入れをしていただきたい。

③所管課に関する事項

補助金の交付目的及び対象事業の把握、交付事務等に関する一連の事務処理について適正に行われていて、今後も実績報告書及び領収書等の証拠書類をよく精査し、支出の実態を十分に把握するとともに、団体と適時連絡を取り合いながら指導・助言をお願いする。